

## 今年度の方針

国際ロータリー第2660地区  
2017-18年度ガバナー 片山 勉

### 〔国際協議会 帰国報告（雑感）〕

去る1/15～1/20 サンディエゴで開催された国際協議会に出席しました。8回にわたる本会議は映像を駆使されており、最終日にはオンラインによるアンケート調査に直ぐに返信して帰国することをすすめられました。

私のようなアナログ人間には想像もできないスピードに驚き、テクノロジーの進化を実感すると共に、クラブや地区の運営、クラブ会長やガバナーがその責務を果たすには今後ますますITの進化への適応力が必須であることを痛感して帰って参りました。

RI会長テーマ及び第2660地区今年度運営・活動方針を発表致します。

地区ガバナー及び地区委員会の責務は①クラブのサポートと強化 ②RI会長方針などを実行する為にクラブに対し助言・指導することです。

これから発表します今年度運営方針をご理解いただき各クラブの活動方針に組み込んでいただきますようお願いいたします。

### 〔今年度RI会長テーマ〕

2017-18年度RI会長テーマは

“ROTARY: MAKING A DIFFERENCE –  
ロータリー: 変化をもたらす” であります。

MAKING A DIFFERENCEを直訳すると「違いを作りつづける」となり、皆様もお気づきのことと思いますが、日本語訳と英語の解釈にとまどいを覚えながらスピーチを聞いていると、ロータリアン・ロータリークラブ・地域・地区・国の特性を活かして、積極的に奉仕活動に参加することが地域社会に変化をもたらし続ける。と述べておられます。

「ロータリーとは何ですか」という問いに「どの様な団体か」ではなく「何をしているか」で定義されるという要約であり、地域社会の特性とニーズをクラブの奉仕活動に映し出すことに力を注ぎ、将来の計画・持続可能な奉仕・全レベルでのリーダーシップを継続して実行し、奉仕を通じて人々の人生や地域社会と世界に変化をもたらすと信じていると述べておられます。

## 〔2017－18年度 第2660地区 ガバナーズローガン〕

今年度RI会長テーマを受け、第2660地区

2017－18年度ガバナーズローガンを

**“個性を活かし、参加しよう”**と決めました。

このローガンは、ロータリーの基本理念と奉仕活動の充実・実践を表わしています。

## 〔2017－18年度 第2660地区 具体的目標〕

1. 基本理念と奉仕活動の実践
2. 戦略計画（将来構想）の推進
3. 公共イメージ向上
4. （財）ロータリー米山記念奨学会設立50周年
5. ポリオ撲滅

### 1. 基本理念と奉仕活動の実践

私達が考えるべきことはロータリーの「理念」と「奉仕活動」のバランスのとれた両立であり、どちらか一方に重心が移ってはロータリーの目的（綱領）・価値感・行動基準（四つのテスト）を守ることは不可能です。

また変えてはならないものと変える（進化）べきものを表わすものです。

ロータリーの創始者

ポール・ハリスの言葉

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、  
時には革命的にならなければなりません。」

#### 〔基本理念〕

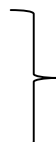
ロータリーの「奉仕の理念」とは金看板と言われる親睦と職業奉仕にあり、信頼（信用）に裏づけられた職業分類による人脈（繋がり）による親睦であり、これがロータリアンの友の輪・友垣です。そして職業人としての高い倫理観・高潔性・寛容・リーダーシップがロータリーの目的です。

#### 〔奉仕活動〕

私達には個々に特性の異なる点があります。

例えばリーダーシップ・人材育成面では

若い世代	「人生が変わる」機会
中堅世代	自己啓発「気づく」機会
シニア世代	伝える機会



また奉仕活動では、職業分類による違いに加え、例えば

若い世代	行動力、テクノロジー、情報力	}等の優れた多様な特性があり、
中堅世代	企画力、知識、熱意、多様性	
シニア世代	経験、資金力、人脈、時間	

全員がその特性に応じて奉仕活動に参加することができます。(全員参加)

クラブが、その会員がその特性を活かした奉仕活動に参加できます。

クラブが、地域の特性とニーズに応える奉仕活動を重点的に継続して下さい。

ポール・ハリス氏は職業分類について“違いを体感すること”と述べており、私達は異なる全分野の職業人を会員として多様性を受け入れる柔軟性・寛容を持っています。

### [奉仕活動の進化]

4年前から始まった「未来の夢計画—FVP」によって、クラブの人数が多い、少ないにかかわらず活動範囲の広い、大きな成果に継がる奉仕活動に進化してきています。

クラブも地区も社会奉仕活動の持続性や成果について考えることが必要です。

その為にはクラブが単独で行うだけではなく共通の価値感を持った人々・団体と共同で奉仕活動を行うことも考えるべきです。

- ・ロータリー学友・ローターアクター等の青少年、クラブ間、地区間、国際間の共同活動。
- ・ロータリーと共通の価値感を持つ他団体・行政機関、企業、個人との共同活動。

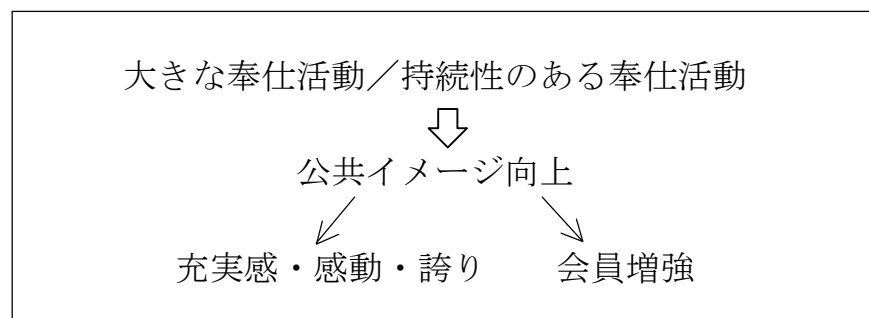
共通の中核的価値感「地域社会・世界に良いことをしよう—

Service Above Self」です。

そして、持続性・継続性のある奉仕活動によって、大きな成果を地域・社会に見えるように公共イメージ向上に繋げてください。

私達は社会の変化するニーズや課題を理解し、奉仕活動に参加して目標を達成することによって充実感・感動・誇りを得られます。

そして会員増強にも繋がります。



## 2. 戦略計画（将来構想）の推進

ロータリーはどのように進化しているのでしょうか？  
皆さんが入会時と入会后5年・10年経った頃のことを思い起こして下さい。  
10年前・現在・10年後の社会を想像してみましょう。  
そして、ロータリーの10年後・クラブの10年後を考えてください。

**魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ**であり続ける為に、クラブはどうあるべきかを考え、課題を把握・分析し中期計画（3年～5年）の立案と実践方法を検討し、実現しなければなりません。

これがロータリーに戦略計画が必要な理由であり、これは単年度で実現できるものではありません。（継続性）

クラブ会長・地区ガバナーは単年度制であり、ロータリークラブが100年以上の歴史を築いてきた重要な要素の一つです。

しかし単年度では目標を達成できないこともあります。  
将来構想を中期計画（3年～5年）として実現するには継続性が必要です。

例えば地区委員会は3年～5年の任期があり、特に継続性が重要な委員会は委員長の任期を3年としています。

（戦略計画、研修、規定審議、ロータリー財団、国際奉仕、クラブ奉仕・拡大増強、ロータリー学友の各委員会）

クラブも継続性が必要な活動について、有効な仕組みを考えるべきです。  
各クラブも中期計画をしっかりと引き継げるようにしてください。

既に69クラブが戦略計画委員会を立ち上げておられますが、まだ戦略計画委員会（名称にはこだわっていません）を立ち上げていないクラブには是非設置を検討していただき、全てのクラブで会員が将来のビジョンを共有し、生き活きとしたクラブとしての存在感・充実感を持ち続けることができなければ、私たちの未来はどうなっているでしょう。

クラブは「**ビジョン・スキル・ストーリー・スケジュール**」を共有しなければなりません。

## 3. 公共イメージ向上

次年度は地区委員会の名称を「広報委員会」から「広報・公共イメージ向上委員会」に変更し、内向きではなく外向きの姿勢を強調したいと考えています。

そして、公共イメージ向上には2つの視点があります。

①マイロータリー登録率 50%目標です。

冒頭にも述べましたように世界中でITの進化のスピードは速く、ロータリーの情報の受発信は全てオンライン化されています。（ペーパーレスの時代）  
国際ロータリーの全ての情報は最速でマイロータリーから発信されています。  
まずマイロータリーに登録しなければなりません。当地区のマイロータリー

登録率は23%程度であり、これを50%にする目標を掲げます。

そして、マイロータリーからロータリークラブセントラルにアクセスし、内容の充実をはかる必要があります。

クラブ活動の内容、クラブ戦略計画（将来構想）の進捗・広報活動等の項目が設けられており、この充実によって相互に貴重な情報が入手でき、成果の可視化・地区組織とのコミュニケーションが深まりガバナー補佐の活動の充実にも繋がります。

更に、RI会長賞の挑戦目標は全てロータリークラブセントラルを使用して報告しなければなりません。

全てのクラブはロータリークラブセントラルを通じて毎月報告する必要があります。

## ②ロータリークラブの認知度の向上について

2015年に行われた調査によると一般の人びとの35%がロータリーやクラブのことを何も知らないと回答しています。

クラブは行っている奉仕活動をロータリー内だけではなく、広く地域社会や世界に知ってもらわなければ社会でロータリーの認知度は上がりません。地区ホームページやマイロータリーの「ロータリークラブセントラル」「ショーケース」等のロータリーツールがあり、これらにクラブが投稿（入力）する手段があります。

そして、新聞・雑誌・チラシ等の紙媒体やテレビ等のメディアに取りあげてもらうことが認知度の向上に繋がることは周知のことでしょう。

クラブが主体ですが、外部メディアへのアプローチについても広報・公共イメージ向上委員会は支援します。

各クラブと地区の活動を「プレス・リリース」する仕組みを構築し、各地区で採用いただけるような「取材依頼書」が出来上がりました。

ロータリークラブの認知度が向上すれば、会員基盤の強化・会員増強にも繋がります。

## 〔2017－18年度 会員増強〕

ロータリーの創立者 ポール・ハリス氏は初来日の時に、「日本を訪問する目的は新しい友人を増やすため」と述べています。

会員を増やすことはクラブの活力を高め、奉仕活動の充実にも繋がります。

現在 世界のロータリーの平均年齢は66.7才で、40代未満の構成比率は約5%、女性の比率は20%強です。会員の大半は60歳以上です。

（今年度ガバナー539名の内、103名が女性）

日本の場合は平均年齢は同じくらいですが、40才未満・女性の比率は平均より低くなっています。私達が将来計画を立案するとき、必ず適正な会員数と巾広い年齢層や財政面がテーマになる筈です。

会員増強は色々な奉仕活動と広報活動による成果であり、目的ではありませんが、何もしなければ会員は増えずクラブの活力が失われます。会員維持と会員勧誘をおこたると明るい未来は築けません。新会員を募集するのに性別・年齢ではなく、資質を考えるべきでしょう。また、若い人達の入会をすすめなければ、明るい未来を描けないでしょう。新会員が会員であり続けられなければ、人も組織も成長しないでしょう。

今年度の会員増強目標は、各クラブ純増2名とします。

### 〔持続可能性〕

今年度具体的目標（優先事項）をすべてまとめると、一つの言葉になります。

それは「**成果の持続可能性**」です。

そして多様性・柔軟性・自主性・継続性についての理解が必要です。

多様性とはロータリアン（職業分類）・ロータリークラブ・地域・国による特性（歴史、文化、慣習等々）であり、それぞれの特性に応じた奉仕活動を行ううえで必要な手段と手続きをロータリーの主体であるクラブが自主的に判断し、自らの責任において行動し、これを継続することです。

但し、これらはロータリーの理念・目的（綱領）・行動基準・共通の価値感に基づいていなければなりません。

### 〔2017－18年度以降のR I 人頭分担金〕

2016年4月 規定審議会にて2017－18年度から3年間、毎年4ドルずつの値上げが決定しました。

2017－18年度	1名あたり	\$ 60
2018－19年度	1名あたり	\$ 64
2019－20年度	1名あたり	\$ 68

### 〔2017－18年度の年次寄付年間目標〕

今年度の年次寄付等、年間目標を伝達いたします。

1. ロータリー財団年次寄付	1名あたり	\$ 150	
2. ポリオ撲滅	1名あたり	\$ 50	計\$ 200
3. ベネファクター	各クラブ	1名	
4. 米山記念奨学会	1名あたり	30,000円	
5. 会員増強	各クラブ純増	2名	
6. マイロータリー登録率	50%以上		

寄付ゼロクラブを引き続き達成しましょう。

(注) ベネファクター = 恒久基金への寄付が1000ドルに達した時、一度(初回)のみの認証制度です。

#### 4. (財)ロータリー米山記念奨学会設立50周年

米山記念奨学会は米山梅吉氏の「世界に良いことをしよう—何ごとも人にして欲しいと思うことは人にもその通りにしよう」の思いが、形になったものです。

今年度は、公益財団法人設立50周年の記念すべき年にあたります。

米山奨学生は約2万人に達し、今年度に第2660地区が受け入れる奨学生は45名になり、前年度世話クラブの希望にそえなかったクラブに優先的に受け入れをお願いします。

日本独自の奉仕活動として実績を評価されている米山奨学事業を皆さんとともに祝い、参加しましょう。

#### 5. ポリオ撲滅

1988年にロータリー財団が提唱しスタートしたポリオ撲滅活動は、スタート時には160万人が発症、2016年は37件にまで減少しており、今年の国際協議会では今年度はポリオ撲滅の記念すべき年になるかも知れないと話されました。(END POLIO NOW)

今、ラストスパート地点にいますが、世界にポリオフリーと認定されるには、ポリオの新規症例ゼロが連続3年間を経る必要があります。

最終地点においても、ロータリー財団が世界に誇れる最大のプロジェクトの目標達成にむけ、これまでと同じようにご寄付をお願いします。

最後になりますが、

「多様性・柔軟性・自主性・継続性」の必要性を理解し、ロータリーの理念のもと、奉仕活動の充実・中期計画の立案と実行・公共イメージ向上を推進することによって「魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ」を実現し、充実感・感動・誇りを得、「楽しく、人の役に立つロータリーライフ」を送りましょう。

クラブとロータリアンが光り輝き、皆様のご活躍が心にのこる一年になりますことを願います。